

非小細胞肺癌に対する【80kg未満】CBDCA+Pemetrexed+Amivantamab療法1コース目 (day1,2)

(カルボプラチン+ペメトレキセド+ライブリバント) <<ORIP>>RPHWJ

2025年01月20日 承認

Dr.sign

Ns.sign

Ph.sign

病棟・科名	登録番号	氏名	年齢	身長	体重	体表面積
	<<SYPID>>	<<ORIBP_KANJI>>	様 <<SYAGE>>	cm	kg	m ²
疾患名	施行予定日	実施サイクル	【調製指示】			
	月 日 ~ ()	コース目	□ TEL連絡後調製			
備考[標準投与量逸脱など]			放射線併用			
			□ 有 □ 無			

【必須項目】

- ☐ 投与7日以上前からパンビタン末1g 1×服用開始
☐ 初回投与の少なくとも7日前にシアノコバラミン注 1A筋注

Day1 (/)

アプレピタントカプセル125mg 1回 1Cを
 治療開始前に服用

《カルボプラチン投与前に服用》

カロナール錠(500) 2T ライブリバントの
 過敏反応防止のため

生理食塩水 500mL

本管

(6hr)

全開で

生理食塩水 50mL

側管

パロノセトロン 0.75mg/50mL
 ポララミン5mg 1A
 デキサート6.6mg 2V
 デキサート3.3mg 1V
 (リン酸エステル換算 20mg)

(30min)

ペメトレキセド mg

(10min)

生理食塩水 250mL
 カルボプラチン mg

(1hr)

全開で

生理食塩水 50mL

専用ルート

※

生理食塩水 243mL
 ライブリバント 350 mg

全開で

生理食塩水 50mL

終了抜去

GFR算出式

使用Cre値

mg/dl

☐ 補正あり☐ 補正なし☐ Cockcroft-Gault☐ Jelliffe☐ 24hrCcr☐

【ペメトレキセドの投与終了(中止)時の注意事項】

(1) パンビタン末は、最終投与日から
 22日目まで可能な限り投与する。

(2) シアノコバラミン注は、投与期間中および
 投与中止後22日目まで
 9週ごと(3コースごと)に1回投与する。

Day2 (/) ~ Day3 (/)

アプレピタントカプセル80mg 1回 1Cを
 午前中(朝食後)に服用

day3のみ

デカドロン錠 1回 8錠を
 1日2回(朝昼食後)服用

Day2 (/)

《ライブリバント投与60分前に服用》

カロナール錠(500) 2T ライブリバントの
 過敏反応防止のため

生理食塩水 500mL

本管

(7hr)

(30min)

生理食塩水 50mL
 ポララミン5mg 1A
 デキサート6.6mg 1V
 デキサート1.65mg 1A
 (リン酸エステル換算 10mg)

側管

全開で

生理食塩水 50mL

専用ルート

※

生理食塩水 229mL
 ライブリバント 1050 mg

全開で

生理食塩水 50mL

終了抜去

全量

250 mL

※ライブリバント投与速度

day1 50mL/hr → 75mL/hr 投与開始から2時間後、速度UP可
 day2 33mL/hr → 50mL/hr (infusion reactionない場合)

CBDCA+PEM+Amivantamab療法

標準投与量

CBDCA AUC=5 day1

PEM 500 mg/m² day1

Amivan 350 mg/body day1

1050 mg/body day2

1400 mg/body day8,15

3週毎